

市職員4団体と市議会 地元の事業者支援へ

竹田独自の商品券

【竹田】新型コロナウイルスの影響で経営が悪化した竹田市内の事業者を支えようと、市職員でつくる4団体と市議会は独自の地域商品券を発行した。国が国民1人当たり10万円を配る「特別定額給付金」を見越した対応。市職員と市議に購入してもらい、地元消費を促進する。

4団体は市職員共済会と 員協議会、市課長会。商品券は市職員労働組合、市消防職 券の名称は「新型コロナウイルスに



独自の地域商品券を発行した市職員4団体と市議会の関係者ら＝竹田市会々

「地域の活気取り戻したい」

負けない！たけたOne Team(ワンチーム)券で、金額を上乗せするプレミアムはない。

市役所内の市職員共済会事務局で500円券の20枚つづりを1冊1万円、8月末まで販売。竹田商工会議所と九州アルプス商工会、市観光ツーリズム協会、市商店街連合会に加盟する約千店で使用できる。利用期間は9月末まで。

商品券のデザインは漫画家の河野美里さん(27)＝市内会々＝が担当し、3500冊を用意した。販売対象となる市職員と市議は計360人で、それぞれの個人事情を考慮し、購入の強制はしないという。

市職員の井出剛委員長(46)は「感染防止の自粛ムードで消費低迷が生まれた。商品券を利用することで地域の活気を取り戻したい」と話した。

4団体と市議会は、商品券が使える登録事業者を市内の個人事業主にも拡大する考え。問い合わせは市職労事務局(☎0974・633369)。(原田宏一)

人気市

新型コロナ

【佐伯】新型コロナウィルスの影響で国が外出自粛を求める中、佐伯市の食や自然、行事などを楽しめる市のユーチューブチャンネル「おこしくださいき」の動画視聴数が伸びてい

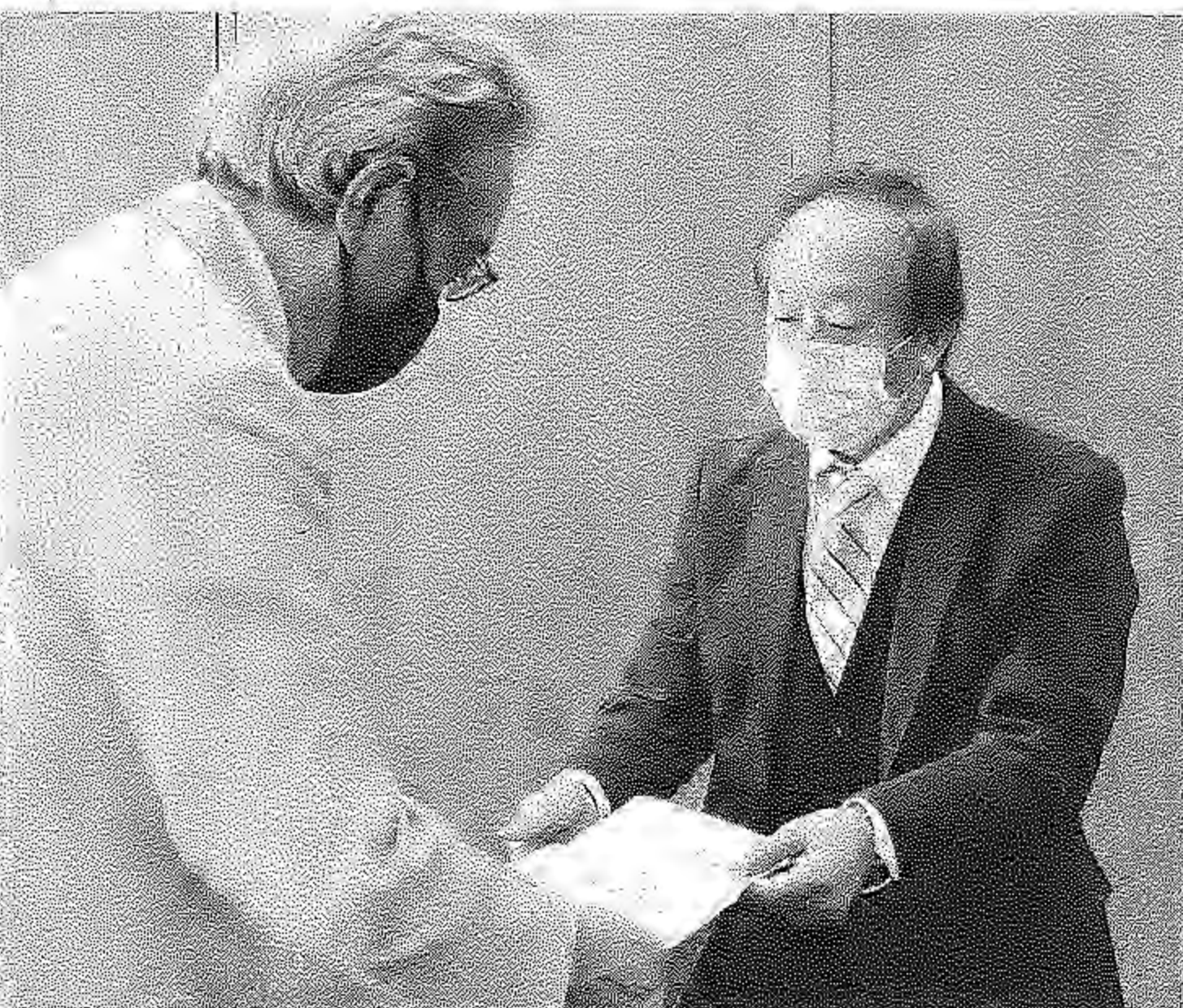
る。地域住民の生の声を交えながら親しみを感じられる内容に仕上げられており、「佐伯を訪れたような気分になれる」と好評だという。

動画の公開は昨年7月、ラグビーW杯日本開催で来日した外国人観光客に佐伯をPRしようと市観光協会などが始めた。

当初は市内のキャンプ場や観光地、飲食店などをメインに配信。外国人だけではなく県外の市出身者から

も反響があり、現の飲食店や港で働いたインタビューなど、ことを詳しく知る112本を公開する。

撮影や取材は市クリエーター工藤(30)が担当。市や協議会観光開発事業「トテント」と「イーブ」な佐伯を紹介したい」と、老舗



首藤勝次市長(左)に要望書を手渡す高野修会長＝竹田市会々

竹田「業績」タク

【竹田】新型コロナウイルスの感染拡大の影響が悪化したとしてタクシー協会(高野)は8日、竹田市に要望した。

高野会長が市役所で「終息後、落ちこもり戻す措置を取つたい」と要望書を提出。勝次市長は「公共を守る新しい仕組み」と応じた。